

2016太田スポレク祭で国際交流広場開催



太田日本語教室あゆみの会



ザフレンドシップフォース・オブ・太田・群馬



ペルー人のグループKazoku



ブラジル人学校EASピタゴラス校



ネパール人サーヴァ福祉協会

平成28年10月22日(土)・23日(日)の2日間、太田スポレク祭会場において国際交流広場を開催しました。両日とも秋晴れの気持ちの良い天気の中で、国際交流協会の活動に携わっているボランティア団体や外国人市民の皆さんのが飲み物やブラジルのソーセージとシュラスコ(牛肉の串焼き)、ペルーのアンティクーチョ(牛の心臓の串焼き)、ネパールのカレーなどの販売を行いました。来場者は炭火で焼く美味しい匂いに誘われ、どのブースも大いに賑わいました。

HEAD LINE

- 1 ■ 2016太田スポレク祭で国際交流広場開催
- 2 ■ 第25回太田国際ふれあいパーティー開催
ザフレンドシップフォース・オブ・太田・群馬が
西ノースカロライナクラブ受け入れ
- 3 ■ 太田日本語教室あゆみの会
「世界の料理」で多文化交流
アジアからの留学生と交流
第27回太田松茸道中にみんなで参加しました!
- 4 ■ 第20回外国人日本語スピーチコンテスト開催
- 5 ■ 第20回外国人日本語スピーチコンテスト 最優秀賞
- 6 ■ 初級韓国語講座開催
デイリー・イングリッシュ(英会話講座)開催
初級ポルトガル語講座開催
- 7 ■ 初級・中級日本語ボランティア講師研修講座開催
初級スペイン語講座開催
災害時通訳ボランティア養成講座&
外国人住民のための防災訓練を実施
- 8 ■ Voice to Voice
太田市災害時言語ボランティア募集中
太田市国際交流協会会員募集中

第25回 太田国際ふれあいパーティー開催

平成28年12月4日（日）にマリエール太田で、「第25回太田国際ふれあいパーティー」を開催しました。21の国と地域、279人が参加して、ブラジルの子どもたちによる歌やダンス、ペルー舞踊や外国語（英語）指導助手によるバンド演奏のアトラクションを食事とともに楽しみました。また、交流ゲームにより、国籍や年齢を問わない多くの人の交流が生まれ、パーティーの最後には、恒例となった抽選会で大いに盛り上りました。



◆ご協力いただいた団体

太田市国際連絡協議会／(株)おおたコミュニティ放送（エフエム太郎）／(株)ソニアプラン ダニエルハウス／(学)関東学園／在日本大韓民国民団群馬県地方本部／(公社)太田青年会議所／国際ソロプロチミスト太田／(株)シー・ビー・エス／コカ・コーラライーストジャパン(株)／ブラステル(株) 群馬支社／ザフレンドシップフォース・オブ・太田・群馬／太田日本語教室あゆみの会／太田ユネスコ協会／フライデークラブ／エコー／虹の会／茅ヶ崎方式英語太田学習会／アップルクラブ／英書読書会アリス

（敬称略、順不同）ありがとうございました

ザフレンドシップフォース・オブ・太田・群馬が西ノースカロライナクラブを受け入れ

ホームステイにより世界中を旅し、また世界中の人々と交流を図ることを目的とする世界的なクラブであるザフレンドシップフォース・オブ・太田・群馬が、平成28年10月12日（水）から18日（火）の間、アメリカ合衆国ノースカロライナ州から、西ノースカロライナクラブの16人の方々を受け入れました。

一行は、清水市長を表敬訪問したほか、新田荘歴史資料館、縁切寺満徳寺資料館、大隅俊平美術館などを見学、日光では華厳の滝や東照宮も見学し、太田での滞在を満喫したのち、次の訪問地である東京へと旅立ちました。



太田市長を表敬訪問



日光東照宮や華厳の滝を見学

太田日本語教室あゆみの会「世界の料理」で多文化交流



平成28年11月13日(日)、太田日本語教室あゆみの会の恒例行事「世界の料理」が開催されました。20の国と地域（アルゼンチン、イギリス、インド、インドネシア、韓国、カンボジア、ジャマイカ、スリランカ、タイ、台湾、中国、トルコ、ネパール、パキスタン、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ペルー、ボリビア、ミャンマー）から来た受講生とその家族100人とあゆみの会のボランティア講師23人の皆さんと、一緒になって腕を奮い、日本の料理の他、15か国（イギリス、インド、インドネシア、韓国、スリランカ、タイ、中国、トルコ、パキスタン、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ペルー、ボリビア、ミャンマー）の料理を作りました。そして、国ごとに料理の紹介をしたり、各テーブルを回って各国の料理を味わいながら、交流が図られ、楽しそうに親交を深めていました。



アジアからの留学生と交流



について教わり、羽根つきやパン作りにも挑戦しました。昼食には「ちらし寿司」や「天ぷらそば」などの和食と、自分たちで作った「あんぱん」や「シュウマイぱん」などをいただきました。食事をしながら、祖国のことや日本について知りたいことなど話が弾みました。

午後は太田警察署へ行き、日本の警官のことや鑑識体験そして護身術を学びました。留学生の皆さんにとって、教科書では勉強できない貴重な体験ができ、充実した一日となりました。

平成29年2月23日(木)、市内の大学に在学しているベトナムとネパールの留学生4人と、市民との交流事業を行いました。

市内のご家庭を訪問し、日本家屋特有の床の間や仏壇、家紋などを見せていただきました。また、ひな人形飾りを前にひな祭りにまつわる伝統風習に

第27回 太田松茸道中にみんなで参加しました！

1629年頃、金山で上質な松茸がたくさん採れていた時代に、将軍への松茸の献上が始まったとされています。その献上松茸を「太田松茸道中」として再現し、歴史を肌で体験し、「ふるさと太田」に対する関心を高めるために、「第27回太田松茸道中」が平成28年10月2日(日)に開催されました。参加者は、史料に基づき復元した松茸駕籠を中心にして、往時の扮装をして隊列を組み、大光院から太田市役所までと、刀水橋から聖天山（熊谷市妻沼）までの約5kmの道のりを行進しました。

今回は、当協会の協力団体である、「太田日本語教室あゆみの会」の受講生や「ポルトガル語の会」、「グループKazoku」のメンバーなど、6か国（イギリス・中国・ブラジル・ペルー・ベトナム・ミャンマー）28人が参加しました。それも加わり、今回は例年のほぼ2倍となる約100人の市民の参加となり、大行列での行進になりました。参加者全員が、太田市の歴史やいわれに興味を持ち、「来年もぜひ参加したい」「疲れたけど、楽しかった」などと喜んでいました。



香龍様を出発



行列の様子



聖天山(熊谷市妻沼)での参拝式

第20回外国人日本語スピーチコンテスト開催



優秀賞
グエン ティ タオ
(ベトナム出身)



優秀賞
ディネッシュ クマル
(インド出身)

平成29年3月5日(日)、太田市学習文化センターにて外国人日本語スピーチコンテストを開催しました。外国人市民の方に日本について感じたことや、日本人に伝えたいことなどを発表してもらい、日本語能力の向上を図ると同時に、来場者に多文化理解を深めていただく目的で開催しており、今年で20回目を迎えました。

今年は5か国(インド・インドネシア・中国・ブラジル・ベトナム)より13人の方が出場し、日頃の学習の成果を発表しました。会場からはたくさんの温かい拍手がおくられ、「日頃の日本語の学習の成果がとてもよく出ていて、楽しかったです。」、「分かり易い。発音がいい。」などの感想が聞かれました。

また、アトラクションの時間には、上州ろう太鼓心響の迫力ある和太鼓演奏やグルーポKazokuの華麗なペルーダンスが来場者を魅了しました。



共同主催：太田中央ライオンズクラブ・太田市国際交流協会
協賛：太田市国際連絡協議会
後援：太田商工会議所・太田ユネスコ協会・(公財)群馬県観光物産国際協会・
国際ソロブチミスト太田・上毛新聞社

第20回 外国人日本語スピーチコンテスト

～最優秀賞～

出場された方のスピーチはどれも個性豊かで素晴らしい、日本語学習に対する日頃の熱心な努力が垣間見られました。ここに、今年度最優秀賞に輝いた張紅さんのスピーチを紹介します。

Title

「心に響いたこと」

張 紅 (中国出身)



みなさん、こんにちは。私は張紅（ちょうこう）と申します。2007年3月10日に中国から日本へきました。もうすぐ10年になります。

きょうは、10年間の暮らしの中で、わたしが感じた日本のよさをお話したいと思います。

まず感じたのは、日本はどの季節でも青い空が見えることです。みなさんもご存じのように、中国の大都市の大気汚染は深刻です。いつもスマogがかかるていて、晴れた日も太陽はぼんやりとしか見えません。暖房に石炭を使うことが多い冬場は特に深刻です。

私は10年間、ずっと太田市に住んでいます。私がいちばん好きな季節は春です。春といえば桜です。桜の美しさにいつも感動します。公園で家族や友人たちと桜を眺めながら、飲んだり食べたり、話をしたりする。日本の春を満喫するしあわせなひとときです。花見そのものに感動することはもちろんですが、花見のあととの光景にも驚かされます。自分たちのゴミを持ち帰る人をあちこちで見かけます。そういうマナーを守っているから、公園がいつもきれいなのだなと思います。

食事時のあいさつもすばらしいマナーだと思います。「いただきます」、「ごちそうさまでした」は、食材に対して、そして食物を育てた人や料理を作った人に対して、感謝と尊敬を表すあいさつのですね。それを知って、私も食事のさいは心をこめてこのあいさつをしています。

日本での10年の暮らしのなかで、わたしは日本人のやさしさを至るところで感じてきました。たとえば市役所でいろいろな証明をもらいたい時、窓口の人は笑顔で対応してくれます。病院でもそうです。看護師さんは椅子に座っている患者さんの目線に合わせて、しゃがむ姿勢で説明してくれます。日本語教室の先生たちも熱心に教えてくださいます。

最後にお伝えしたいのは、日本の子育て支援と学校教育についてです。私の子どもが通っていた保育園は、親子いっしょにひとときを過ごし、子育ての悩みや困っていることなどを親同士が気軽に話せる「ふれあいの場」がありました。異国での初めての育児は戸惑うこともたくさんありましたが、「ふれあいの場」での交流が、育児を楽しいものにしてくれました。小学校では1年生から、算数、国語の基礎を学び、音楽、体育、図工、生活などの教科をとおして、学ぶ力や工夫する力、そして体力をつけてくれます。いろいろな方面から子どもたちの可能性を引き出してくれる日本の学校教育に感謝しています。

自分の子どもには日本によさ、中国によさを理解し、両方の国を大切に思う人間にそだってほしいと願っています。

ご清聴、ありがとうございました。

初級韓国語講座開催



初心者を対象にした初級韓国語講座を平成28年11月7日から12月12日の毎週月曜日（全6回）に、国際交流センターにおいて開催しました。講師は韓国出身の金三花先生で、15人が受講しました。

ハングルの成り立ちや基本的な母音字や子音字から学び、受講生からは、「独学では全くわからなかったのに授業を受けたらよく理解できた」、「楽しかった」等の声があり、大変好評でした。引き続き韓国語に興味を持って、韓国文化や言語への理解を深めながら、地域での交流へと広がることを期待します。



デイリー・イングリッシュ（英会話講座）開催

簡単な英会話ができる人を対象に平成28年11月11日から12月16日までの毎週金曜日（全6回）、国際交流センターでデイリー・イングリッシュを開催し、英語の好きな20人が英会話力の向上を目的に受講しました。講師は当協会の英語担当で、市立太田高のALT（外国语指導助手）も務めている小島ニコラス先生でした。日常生活に使える英会話を中心としたプログラムで、世界の文化や社会の事象等にも目を向け、英語を使って自分の意見を述べるという内容でした。ネイティブな英語で難しいところもあったようですが、「年配の方が多くて驚きました。」、「私も英語を勉強し続けたいと励みになりました。」、「先生が気さくでユーモアもあり、とても楽しく久々に英語に触れられてよかったです。」、「大統領選などその時々の話題について話し合ったことなどよかったです。」など様々な感想が寄せられ、大変好評でした。



初級ポルトガル語講座開催



平成28年11月15日から12月20日の毎週火曜日（全6回）、国際交流センターにおいて初級ポルトガル語講座を開催しました。今年度は、太田市教育委員会日本語指導助手のクラウス百合子先生を講師に迎えました。受講生からは「授業が工夫されていて楽しく受講できた」、「ポルトガル語やブラジルについてもっと知りたい」などの声があり、夜の講座でしたが大変好評でした。近年、外国人住民が地域に定着化しており、ポルトガル語への関心は益々高まっていくことでしょう。ポルトガル語を話す方が多く住むこの地域で、当講座をきっかけにポルトガル語の習得をされた方々が地域社会の中で異文化交流にさらに興味を持つて頂くことを期待しています。



初級・中級日本語ボランティア講師研修講座開催

初級（平成28年11月12日から12月3日までの全4回）、中級（平成28年12月17日から平成29年1月21日までの全4回）の2段階にわけて、外国人に日本語を教えるボランティア講師の育成と、能力向上を目指す人のための日本語ボランティア講師研修講座を開催しました。講師は、両講座を通して関東学園大学の佐藤有紀先生に務めていただきました。

初級研修では、『日本語ボランティア講師とは何か？』という基礎から始まり、日本語と国語の教え方の違いや教材の選び方などについて学びました。

『日本語講師としてのスキルアップについて』では、講師自身もボランティア講師の経験があり、国内外で日本語講師として活躍されている正田江利子先生をお招きすることができ、日本語教育現場の現状などについて学ぶことができました。

中級研修では、日本語ボランティア講師の資質を再確認し、教案の書き方などの具体的な授業の進め方について、様々なテキストを用いながら分かりやすく教えていただきました。

みなさん意欲的に受講し、熱心に講師の話に耳を傾けていました。地域における日本語ボランティア講師の皆さんのおますますの活躍を期待します。



佐藤先生 正田先生

初級スペイン語講座開催



平成29年2月2日から3月9日までの毎週木曜日（全6回）、国際交流センターにおいて初級スペイン語講座を開催しました。講師は、阿部里奈先生です。

先生は、バイリンガルですが、日本語が堪能な上、丁寧で初心者にも分かりやすいスペイン語の発音でしたので、明るく楽しい授業でした。今回の受講生は15人です。

参加者には、この講座をきっかけに、スペイン語の習得のみならず、地域社会の中で異文化交流にさらに興味を持っていただくことを期待します。



災害時通訳ボランティア養成講座＆外国人住民のための防災訓練を実施

群馬県と太田市の共催により、災害時に支援が必要な外国人住民をサポートできる人材の育成と、外国人住民が災害や避難所について学び、災害時に適切な行動が取れるようにすることを目的に、平成29年1月22日（日）に養成講座、2月5日（日）には養成講座と併せて外国人住民を対象とした防災訓練を行いました。通訳ボランティアの参加者は、災害時における外国人支援や役割を学び、防災訓練に参加した外国人住民は、非常食を体験したり、避難所の想定訓練にも参加し、災害への備えをそれぞれの立場で確認することができました。



災害時通訳ボランティア養成講座でのグループ発表



避難所想定訓練

VOICE TO VOICE

Para o amanhã...

Professora Bilíngüe
Escola Municipal de Ota Kyuhaku Shougakko
Sandra Otake

Nasci numa pequena cidade chamada Tupã, localizada no interior do Estado de São Paulo, Brasil, nela prosperava a pecuária e a agricultura. Cresci na fazenda de meu avô, onde toda a natureza que a envolvia, foi o palco de minhas primeiras e inesquecíveis aprendizagens.

A aproximação maior com a cultura japonesa foi após o meu casamento. Meus sogros foram passageiros da última viagem do navio Nippon Maru ao Brasil em 1973 e conheci o Japão através de suas memórias. Portanto, o espanto não foi grande ao pisar nas terras japonesas em 1988. Posteriormente tive a grande oportunidade de me formar como pedagoga pela Universidade Federal de Mato Grosso em 2013. O domínio da língua japonesa ajudou na adaptação e a entender que não existe o certo e o errado quando se trata de costumes. Acredito que aprendizados ocorrem a todo o momento, às vezes com a mente de forma acadêmica e outros com o coração através das lições de vida. Nessa caminhada, passei pelos mesmos problemas que os pais e alunos enfrentam hoje e como professora bilíngue, sinto o quanto é gratificante poder auxiliá-los com meus conhecimentos e experiências.

明日のために

太田市立休泊小学校
(バイリンガル教員)

大竹 サンドラ

私は、ブラジル連邦共和国サンパウロ州にある小さな町、トゥパンで生まれました。畜産業や農業が盛んなこの町、豊かな自然の中で私は祖父の農場で育ちました。この環境が私の第一の学習の場でした。

日本の文化などについて私が知るようになったのは、結婚後のことです。それは、夫のご両親がよく日本という国を話してくれたからです。彼らは、1973年に日本丸が最後の日本人移民をブラジルへと送り出した時に乗船していたのです。

私は、1988年に仕事を求めて来日しましたが、聞いていた話のおかげで、文化の違いに驚く事なく暮らし始める事が出来ました。そんな中で、ブラジルのマトグロッソ連邦大学の遠隔教育による在日ブラジル人教育者向け教員養成講座を東海大学で受け、小学校の教員免許を取得する事も出来ました。日本で生活し、言語や文化に触れていく中で感じたのは、それぞれの国の風習や習慣の中に違いはあるって、あやまりは存在しないという事です。見渡せば周りには学ぶものが溢れています。学校で学んだ事や人生の中で得たものは私自身の教訓として心に刻まれています。今日本に来ている児童や保護者の皆さんとの身に起こっている事は私もたっぷり経験してきた事です。バイリンガル教員になれた事で、私の知識や経験を外国籍の方に還元し、不安や心細さを取り除いていけるので、何よりもやりがいを感じています。



街の中心にあるサンペドロ教会

太田市災害時言語 ボランティア募集中

あなたの語学力を災害時の外国人支援に活かしてみませんか!

◆災害時言語ボランティアの登録はこちらから

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/01news/volunteer.html>
問合せ先: 太田市役所交流推進課 ☎ 0276(47)1908

太田市国際交流協会会員募集中

国際交流に関心のある方、ぜひ加入ください。 会費(年額) 法人一口: 5,000円 個人一口: 1,000円

編集後記

太田市国際交流協会では、ホームページを開設し、当協会の情報を日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語で掲載しています。皆さんからのご意見・ご要望などもぜひお聞かせください。お待ちしています。

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/kokusaiouryu/index.html>